



校報

いいの子

木次中学校区のめざす子ども像

- ・ふるさとに愛着をもち、多様な他者と進んで関わる子ども
- ・心身ともに健康で、しなやかさとたくましさのある子ども
- ・自ら判断し、生き生きと表現する子ども

めざす子ども像：学び合う子・助け合う子・元気な子

令和2年7月22日 発行 文責：校長



1年：「人権の花」植え作業（生活）



2年：『にじいろコレクション』（図工）



3年：パソコンを使ったローマ字学習（国語）



4年：請川水質調査（総合）



5年：田植え（総合）



6年：調理実習『野菜炒めと卵料理』（家庭）



4～6年：将棋クラブ



総務委員会：あいさつ運動



給食：アジを食べよう！

1学期をふり返って

コロナ禍による終わりの見えない状況が続いていますが、おかげさまで、来週いっぱい
1学期を終えることができます。臨時休業期間が明けてから、感染だけでなく子どもたちの
精神面も心配していましたが、みんな元気で学校生活を送ることができています。これも、
地域の方や保護者の皆様のご支援ご協力のおかげだと思えます。ありがとうございました。

学校生活上の制約がたくさんありますが、上の写真にあるように、感染予防に努めながら、
さまざまな教育活動に取り組んでいます。2学期以降も順調に教育活動が進められるよう、
子どもたちには、感染予防に努めながらも充実した夏休みを過ごしてほしいものです。

幼小連携を進めます

登校してくる子どもたちと朝のあいさつを交わしていると、斐伊こども園に登園してくる子どもたちも元気のよい声と笑顔であいさつしてくれます。とてもうれしいことです。

毎年4月になると、新1年生は小学生になる喜びと共に大きな不安を抱いて学校にやってくる。不安の原因の一つとして、幼稚園・保育所・認定こども園などの幼児教育施設で行われる教育と小学校教育との違いが挙げられます。

幼児教育と小学校教育との違いの中で一番大きいのは学び方の違いです。幼児教育では、「自分で見つけた遊び」を通じての学びが基本です。小学校になると、教科学習中心の学びになり、学習のめあてに向かって学習します。

また、小学校になると、いろいろな「枠」の中で生活するようになります。45分間という学習時間の「枠」、教科という「枠」、学習や生活上のきまりという「枠」、教科ごとに変わる場所の「枠」、ペアやグループ、縦割り班等の集団の「枠」などです。もちろん、幼児教育においても「枠」はありますが、学校ほど細かくはありません。子どもによっては、「枠」があることで落ち着いて生活できる場合もありますが、慣れるのに時間がかかる子もいます。

話は変わりますが、島根県の小学校における不登校児童数は年々増加しています。また、全児童数に対する不登校児童の割合は、全国平均よりも高い割合で推移しており、特に平成29年度以降は全国平均を大幅に上回っています。不登校には様々な原因が考えられますが、その一つに、「入学時の不適應からくる不安」があります。(H30年度 文科省調査より) 幼児教育と小学校教育との間にある「段差」が、子どもによっては、大人が想像する以上に大きいわけです。

現在、斐伊小学校には長期欠席をしている児童はいません。しかし、島根県の現状を考えると、斐伊小においても、現状に満足す

ることなく準備していく必要があると考えます。

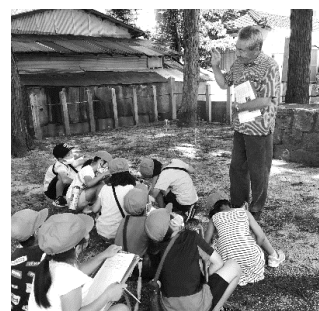
そこで、今年度から島根県教育委員会幼児教育センターの指定を受け、斐伊保育所と斐伊こども園と共に『幼小連携・接続研究事業』に取り組んでいきます。協力園として四ツ葉学園保育所とも連携を進めます。この研究事業をとおして、子どもたちが安心して小学校生活をスタートさせられるように、また、幼児教育で身につけた力や一人一人がもつ可能性を6年間で最大限に伸ばしていきたいと考えています。

コロナ禍のため、1学期には子ども同士の交流活動はできませんでしたが、状況を見ながら2学期以降に計画したいと思えます。職員レベルでは、既に公開保育・授業を参観し合ったり、園内研修会に参加したりしています。夏休み中には、保育所とこども園に出かけて年長児の保育を参観したり、合同で研修したりする計画です。



お世話になりました

6月23日(火)に、2年生が生活科の学習で町探検をしました。八本杉では、地域講師の多根章生さん(菟原)に説明していただきました。



お礼

斐伊地区自治会長協議会を通じ、教育振興費として地域の皆様から多額の浄財を頂戴しました。教育活動の一層の充実を図るための費用に充てさせていただきます。

ありがとうございました。



8月の主な行事予定

23(日) PTA 奉仕作業

26(水) 2学期始業式、午前中授業

27(木) 給食開始、5時間授業